

科名 血液内科 血内18(b)
 対象疾患名 移植前処置
 プロトコール名 BU1回投与+CY

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1	CV	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて	↓	↓	↓	↓				
2	CV	側管	ブスルフェクス 5%ブドウ糖液	3.2mg/kg 500mL	3時間かけて 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖液はブスルフェクスの 10倍量にする	↓	↓	↓	↓				
3	CV	側管	プロイメンド 生理食塩液	150mg 100mL	30分かけて エンドキサン1時間前					↓			
4	CV	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて					↓	↓		
5	CV	側管	エンドキサン 生理食塩液	2250mg/m ² 500mL	3時間かけて					↓	↓		
6	CV	側管	ウロミテキサン 5%ブドウ糖液	900mg/m ² 50mL	30分かけて エンドキサン投与と同時に					↓	↓		
7	CV	側管	ウロミテキサン 5%ブドウ糖液	900mg/m ² 50mL	30分かけて エンドキサン投与4時間後					↓	↓		
8	CV	側管	ウロミテキサン 5%ブドウ糖液	900mg/m ² 50mL	30分かけて エンドキサン投与8時間後					↓	↓		
移植													↓

1コース=8日間

~MEMO~

催吐レベル4(90%以上)

<ブスルフェクス>

- ・ブスルフェクスを、10倍量の生食、又は5%ブドウ糖液で希釈する。
- ・調整後は8時間以内に投与終了。
- ・痙攣予防として、フェニトインを内服する。

(ex:アレビアチン(100) 3T/3x 毎食後)

<エンドキサン>

- ・肥満患者には、投与量が過多にならないように、標準体重から換算した投与量を考慮すること。
- ・投与終了後24時間は150mL/時間以上の尿量を保つように、1日3L以上の輸液を投与するとともにメスナ(ウロミテキサン)を併用すること。患者の年齢及び状態を考慮し、輸液の量を調節すること。
- ・ウロミテキサンはエンドキサンの40%を1回量とする

年齢	エンドキサン	ウロミテキサン
40歳以下	2250 mg/m ²	900mg/m ²
41歳以上	2000 mg/m ²	800mg/m ²
50歳以上	1800 mg/m ²	720mg/m ²